



湯呑 10cm×10cm×5.5cm(高)



小壺 16cm×9.5cm×10.5cm(高)



#### 伊藤 正 陶歴

- 1952年 岩手県釜石市生まれ
- 1979年 栃木県益子町の塚本製陶所で修行
- 1985年 岩手県遠野市に築窯
- 1995年 岩手県花巻市東和町に築窯
- 2001年 「美の国わが故郷」展(萬鉄五郎記念美術館、岩手)に出品
- 2004年 「第22回朝日現代クラフト展」(大阪、横浜)招待出品
- 2006年 「現代陶芸の粋」展(茨城県陶芸美術館)出品
- 2008年 「第2回智美術館大賞 現代の茶陶—造形の自由・見立ての美」展(菊池寛実記念 智美術館、東京)に出品、優秀賞受賞
- 2010年 「第3回智美術館大賞 現代の茶—造形の自由」展(菊池寛実記念 智美術館、東京)に出品

● 伊藤正さんの陶はおもしろい。

何か楽しくなる予感がする。

そんなことを書くと本当にそのように見えてくるのだが、  
最初とどいてあけた時、自分は悲しさを秘めたもののように感じたのです。  
変化してくるんですね。何かをきっかけに。

小田原は桜が咲く中、二日雨がつつき、寒さもあって、4月6日、この月曜日、  
パッと晴れて気持ちよくなりました。でも誰も桜咲く中歩いていない。

雨のある日、数人で展示会でコントラバスを聞いた。

その中にすごく感動した人がいて電話をもらった。

悲しさをもっていたカザルスの「鳥の歌」だと私は思った。

そしたら今日、東京新聞の「筆洗」で悲しい曲を聴くと、人は郷愁、平和などを想起し、

落ち込んだ気分をかいぜんさせることができるそうだ。

自分も何故か音楽と陶のことを書いているのに、見え方が変わってきたり、

人がさみしい雨の中で聞くことで感動し、意識がよみがえるみたいなことがおこるように  
変化していくんですね。

あらためて、伊藤正の陶を今一度見てみたいと思った。

2015年4月6日 店主 ● たかはしたいいち



## 箱根菜の花展示室

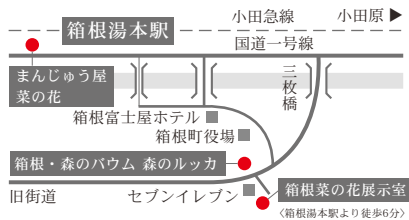
開館時間 / 11:00 - 17:30

入館料 / 500円 (コーヒー or 抹茶 + お菓子付)

〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本351-2 Tel.0460-83-8166

<http://nanohana-tenjishitsu.com/>

[休館時連絡先] 菜の花暮らしの道具店 Tel.0465-22-2923



○自動車でお越しの方  
国道一号線「三枚橋」信号から三枚橋を渡り、旧街道沿いセブンイレブン手前を左折100m上る。小田原厚木道路・西湘バイパスをご利用の場合は、「箱根口インター」でおり、国道一号線を箱根方面へ、三枚橋を左折してください。  
三島方面より箱根新道でお越しの方は、「須雲川インター」が使えません。箱根新道料金所を過ぎ次の降り口「山崎インター」より国道一号線を箱根方面へお進みください。

○電車でお越しの方  
箱根湯本駅を下車し富士屋ホテルへの橋を渡り箱根町役場方向に、進み、旧街道へ。湯本駅より徒歩10分です。

表紙 21cm×18.5cm×31cm(高)



# 伊藤正・陶

2015年4月24日・金 — 5月2日・土  
在廊日 / 4月24日 会期中無休

## 箱根菜の花展示室

神奈川県足柄下郡箱根町湯本351-2